



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和4年度学校だより
No.14 3月号
令和5年3月1日(水)

今を変えれば 未来が変わる

令和4年度も 残り一か月!!

児童の相談から

実は昨年11月のこと、4年生女子二人から相談用紙が届きました。そこに書かれてあった内容は「前渡小学校ができるまえは、なにがあったですか。」です。この質問に答えるために色々と調べましたが、中々正確なことが分かりません。多分、森林であったのではないかというのは大まかな予想ですが、根拠がありません。そこで資料を探すことを始めました。一番欲しいものは明治20年より前の地図です(本校の創立は明治22年)。ひたちなか市の中央図書館、水戸市にある県立歴史館などをあたりましたが、目あてのものには辿り着けません。他にも数か所あたりをつけて、協力を依頼し、現在も調査中です。

かつての手書きの大雑把な地図にも行きあたりましたが、そこから分かることは、前渡小の正門前の道路は、昔も本校の北にある追分交差点から長砂方面に向かって伸びる村松街道につながっていました。また、今の前渡小の付近には、家のような、宿のような、絵が描かれていました。そこから想像すると、前渡小ができる前は、前渡小の道路沿いには小池商店や加藤洋品店のように建物が立ち並び、一歩西側へ足を踏み出すと、山林であったのではなからうかというのが、現時点でのあくまでの想像です。

児童の質問を受けてから返答までに数か月、随分と月日が流れてしまいました。申し訳ありませんが、正解(?)を紹介できるまで、もう少し時間をください。



2月9日に開催されたひたちなか市教育振興大会において、本校は特別表彰を受賞しました。評価の対象となったのは、学校観察園ほたるの森を通じた環境教育と、その維持管理に努めたことで受賞につながった『学校ビオトープ大賞』で、その業績が認められたからです。

その翌週2月16日には、東京大学を会場とした『脱炭素チャレンジカップ2023』に出場しました。発表を担当したのは児童会代表委員です。本校はジュニア・キッズ部門でのエントリーです。発表が決定してから本番までの限られた時間の中、担当の先生たちとともに休み時間を返上し、練習と試行錯誤を重ねて当日を迎えました。緊張もしたようですが、やる気と笑顔に満ちあふれたすばらしい発表でした。その結果、『ユニ・チャーム最優秀やさしさでささえる賞』を受賞しました。時間をかけて取り組んできたことが形となり、とても印象に残るよい思い出となりました。

この2週連続での二つの大会での発表体験を通じて、それに直接携わった代表委員の子どもたちは大きく成長するよい機会となりました。また、全校児童・教職員のみみんなでオンライン中継を参観しましたが、そのことで来年度は是非『代表委員をやりたい』と意欲を見せている児童が既にいます。多くの人が繋いできた『ほたるの森』、この灯をともし続けて、環境に関する教育を発展させていきます。

2/15、2/17の二日間にわたり6年生が野鳥観察を行いました。当日の様子は紙面の都合によりHP学校日記を御覧ください。

『馬渡』と『前渡』

ここに赴任する前から疑問に思っていたことの一つに「馬渡」と「前渡」があります。字も音も似ているので、この二つの違いは果たして何だろうとずっと思っていました。

そこで文献をあたります。思ったよりも時間はかからずに、その記録を見つけることができました。その文書名は「写真資料集 勝田の歴史」です。

それによると明治22年7月に次の記載がありました。

『馬渡・長砂・足崎・前浜村合併し

前渡村となる』

つまり、前渡という言葉は、前浜村と馬渡村の前と渡をとって生まれた言葉—地名だと推測できます。ちなみに「前浜」という地域はどのあたりかという、車のナビ等では245号線を南下して、ちょうど部田野交差点の少し手前、左側のあたりであることが確認できました。昔はもっと広がったことが想像できますが、今はとても小さな区画です。

あと少しだけ話をします。本校の沿革誌を遡ると、明治22年7月1日に

「馬渡尋常小学校を前渡尋常小学校と改称」

とあります。本校の起源は、前渡村の誕生ともにあるようです。さらに歴史をひも解くと、他にも本校と関係の深い学校のあることが分かってきました。かつての資料には「前渡中学校」という言葉もありました。調べ出すと興味は尽きませんが、また別の機会に関連する話を掲載できればと思っています。



前小(裏)通信

生活の柱 : 時間と空間それから仲間、三つの『間(あいだ)』を大切に

Key Word : 間が大事 笑顔さわやか ワクワクと 宝は仲間 理想に向かって

生活科「かげとなかよし」の学習の様子です。全身を使って、友達や既存の影と上手に組み合わせながら、影遊び・影鬼を楽しみました。とてもきれいな形のお星さまが出来上がりました。これは仲間とともに、今、やるべきことに工夫を凝らして力を注いだ結果です。協働的な学びの一つの例と言えるかもしれません。



5年生

2月24日の総合的な学習の時間の様子です。「さつまいも」について調べた内容を2年生の教室に行って発表しました。各班とも伝わりやすいように工夫をしました。発表の前にクイズを出して興味を引いたりする班や、絵をたくさん描いて見やすくしたりするなど、各班の良さが発揮されていました。



1年生

「6年生を送る会」当日の、午前中の練習風景です。↑
5年生は実行委員会を立ち上げ、会の運営、プレゼントづくり、1～4年生にメッセージカード作成のお願いなど、多岐にわたって活動してきました。特に、6年生へ向けて歌う back number の「水平線」は、美しい歌声が響き渡るように毎日練習してきました。6年生に感謝を込めて歌います。



3年生



2年生



6年生

縄跳びの記録会で、5年生の協力を得て、前跳びの「時間跳び」に挑戦しました。5年生が応援してくれたので、いつもより記録が良くなった児童がたくさんいました。

こちらの写真は「6年生を送る会」の本番の様子です。1年生から4年生は、各クラスからオンラインで温かいメッセージを体育館まで届けました。そして5年生は、体育館で6年生と面と向きあって、素敵な歌と力強いエールを送りました。在校生から直接「ありがとう」や「卒業おめでとう」の言葉があり、6年生はとても嬉しそうでした。いよいよ卒業への実感も湧いてきたようです。6年生、残された『今』に力を注いで、さらに成長して巣立っていきましょう。



4年生

彫刻刀を初めて使った作品です。今回は刷った和紙に色を付けて作りました。出来上がりは描いていたイメージよりも迫力があり、所々で歓声が上がりました。鑑賞では友達の作品の良い点を見つけ、来年度の学習につなげようとする姿が見られました。

◇ 6年生を送る会を開催した令和5年2月28日は、学校に、前渡小の体育館に、『歌が帰ってきた日』となりました。5年生と6年生の合唱を直接聴くことができ、感動しました。『…時に歌を口ずさむ学校』、ここに始動す。